

# HPVワクチン東京訴訟 支援ネットワークニュース

HPVワクチン東京訴訟支援ネットワーク

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-17-10 エキニア池袋6F  
城北法律事務所内

ホームページ：<http://hpv-yakugai-shien.net/>

Facebookページ：<https://www.facebook.com/hpvv.yakugai.tsn/>

E-MAIL：[hpv\\_shien@yahoo.co.jp](mailto:hpv_shien@yahoo.co.jp)



No.6 2018年5月30日



## HPV ワクチン被害を考える学習会・甲府

5月20日(日)14時から2時間、やまなしプラザ・オープンスクエア(山梨県防災新館)において、全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会山梨支部と「HPV(子宮頸がん)ワクチン被害を考える」学習会を開催しました。被害者、支援者が35名参加し、地元メディアにも紹介されました。

学習会の前、12時から1時間、甲府駅南口で宣伝をおこないました。

参加者の感想を紹介します。



甲府での学習・交流会では、当支援ネットワークの隈本邦彦代表世話人による子宮頸がんや予防ワクチンのそもそも論の説明があり、大久保秀俊弁護士からはHPVワクチン東京訴訟の経過報告が、そして被害当事者の望月瑠菜さんとお母様で山梨支部の代表をされている千鶴さんのお話しと続きました。そのおふたりのお話しに、同様の辛い経験をお持ちのお嬢さんや親御さんも複数来られていて、ご自身の体験とも重なってかこみ上げてくる涙をぬぐっておられました。

国は接種を勧めておきながら、それにより被害者が出ても「あとは知らない!」「全ての被害者を救わない!」「被害との因果関係を(被害者が)証明したら考える」という。そんな暴挙許せるわけではないでしょう。一方、「山梨県は全国に先駆けてワクチン接種事業を開始したので、調査も全国に先駆けてやる責任がある。」と被害者連絡会山梨支部が2016年6月に山梨県議会に請願を提出しました。しかしその後の経過が見えて来ません。県内では現在8名の被害者の方が把握されていると聞きますが、実際にはほかにも様々不可解な時には苦痛を伴う症状を経験されている方がおられ、その実態が表面化されていないのではないかと懸念されます。何よりも副作用がどういったものが接種者に何も伝わっていないからです。やっとの思いで受診しても医師自身に知識がなく十カ所以上もたらひ回しというケースもあり、行き場の無い被害者は放置されたも同然です。

そんな今、重要になるキーワードは、「連帯・連携」そして「闘い方」だと思います。「連帯」には地域、県内、全



国、延長線には世界との連携があります。「闘い方」には、国や製薬企業への訴訟のほかに、医療従事者や、各自治体、マスコミの責任に対する抗議、最大は社会に圧倒的な影響力をもつ推進論者たちとの闘いもあります。まだまだ科学的に解明しきれていないHPVワクチンを、権威機関の推進論者たちはHPVワクチンには「非がない」それどころか「有効で有益だ」という世論形成に走っています。被害者たちは抱える苦難の上にさらにこんな専門家たちの驕りに対し実質的には闘いを強いられることとなります。そういう対象と対峙していくためにも具体的に「闘い方」を考える必要があると強く感じた一日でした。 小沢 木理(患者の権利法をつくる会常任世話人)



## HPV ワクチンに関する共同宣言

4月26日、HPVワクチン薬害訴訟全国原告団は、3月の国際シンポジウムに参加した英国・スペイン・アイルランド・コロンビアの被害者団体、および薬害オンブズパースン会議・全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会とともに、「HPVワクチンに関する共同宣言 2018」を公表しました。

その中で、政府、HPVワクチンメーカー、医療専門家、マスコミへの要求をまとめています。

- ・ 中立的な第三者による、HPVワクチンを受けたすべての人々の健康状態の長期追跡調査を実施すること
- ・ HPVワクチンの副作用の効果的な治療法を開発する研究を促進すること
- ・ 被害者に対する治療を提供し、生活、教育、就労の支援を行うこと
- ・ HPVワクチンの接種に関し、インフォームド・コンセントに関する基本的人権に基づき十分な情報を得て決定ができるよう、子供、青少年、および親に対し、HPVワクチン接種によって生じる可能性のあるすべての副作用を記載した患者用情報小冊子を提供すること
- ・ リスクを全面開示しないままHPVワクチン接種を促進するような広告キャンペーンはすべて中止すること
- ・ 重篤な副作用の回避を保証するより安全なシステムが確立されるまでは、HPVワクチンを定期の予防接種として推奨することを中止すること
- ・ HPVワクチンの被害者に対する差別や中傷をやめること

★ 全文は <https://www.hpv-yakugai.net/2018/04/26/joint-statement/>



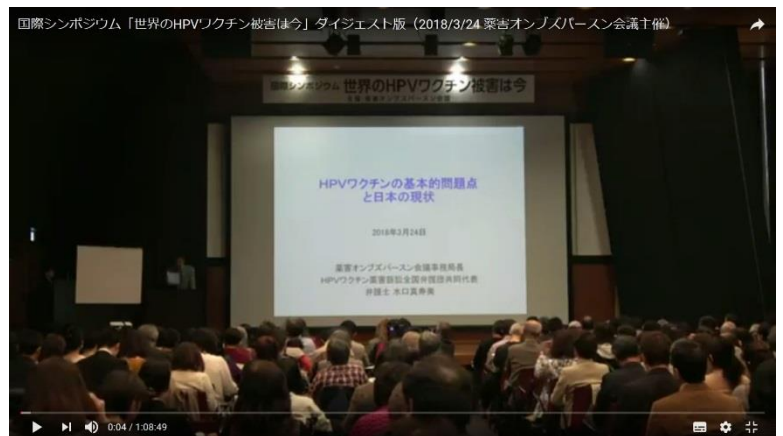
## 国際シンポジウム 世界の HPV ワクチン被害は今

3月24日、東京大学浅野キャンパス・武田先端知ビルにおいて、薬害オンブズパースン会議が主催した国際シンポジウム「世界の HPV ワクチン被害は今」が開催されました。

当日の録画ダイジェスト版(1:08:49)が公開されていますので、ご覧ください。

時間のない方は、YouTube 再生で 1.5 倍速に加速することも可能です。

画面下部にマウスアイコンを置くとあらわれるメニューの右側にある「歯車アイコン (設定)」をクリックし、再生速度を設定してください。



<http://www.yakugai.gr.jp/topics/topic.php?id=954>

### ● 支援ネット例会のご案内

日時 第7回 6月18日(月)

第8回 7月10日(火)

18:30~20:30

場所 城北法律事務所 (池袋駅西口すぐ)

<http://www.jyohoku-law.com/office/accessmap.html>



子宮頸がん予防をめざして接種した HPV ワクチンは、たくさんの薬害被害を発生させました。全身の痛み・震え・歩行困難・感覚過敏・記憶障害など様々な症状が重なり、今でも苦しむ被害者がいます。

2013年に接種の積極的勧奨が中止になりましたが、国と製薬企業は責任を認めていません。被害者は、健康な体を取り戻すことと原因説明・賠償・再発防止を求めて、2016年7月から、東京・名古屋・大阪・福岡で裁判を続けています。

### 支援ネットへ 入会をお願いします

- 入会申込み WEB 入力フォーム

<https://goo.gl/forms/IJmdrsiNu4EkaELO2>

